

たくましく 心豊かな 地球市民	瞳かがやく 附属松本中の子ら すすかけの森	令和6年10月4日（金） 信州大学教育学部 附属松本中学校 学校だよりNo.5
-----------------------	---------------------------------	--



秋の訪れを感じる季節となりました。10月3・4日には、生徒会の最大行事である「附中祭」が開催され、クラスや委員会、部活動など、これまで準備を進めてきた成果を存分に発揮する場となりました。自分の役割を自覚し、的確に指示を出す姿、これまでの練習から作戦を練り直し、仲間と励まし合いながら懸命に走り抜く姿、自分の殻を破り、ステージの上で思い切って自分らしさを表現する姿など、それぞれの生徒にとって今年度の生徒会テーマである「凌駕 ～つながり 寄り添い 創り上げる附中の輪～」の具現の場となりました。附中祭を通して見られた個々の成長と全校の強い結びつきを、後期の学校生活にも生かしていければと思います。

10月1日には、前・後期終始業式を行いました。各学年の代表生徒が前期のまとめと後期に向けての抱負を語ってくれました。また、校長講話の中で、9月に英語のスピーチコンテストに参加した生徒の発表を聞くとともに、それについての感想を交換する場面ももたれました。校長講話の様子を紹介します。



自分をみつめよう、友だちのいいところを認め合おう～校長先生のお話より～

先日 9/14 に学校見学・学校説明会が行われました。参加していただいた方の感想の一部を紹介します。このように、参加者の方々に附属中を好意的に受け取ってもらって嬉しく思います。この始まる数時間前、菊の手入れをしたり、黒板に板書をしたり、噴水まできれいにしようと言いつけたり…わたしは、学校が丸となって動いていることを実感しました。

さて、1年の半が終わります。みなさんは、この半年を振り返ってどんな力を伸ばすことができたでしょうか。まず、全国学力学習状況調査の結果から全国の中学生と比べて見えてきた、附属中学生の特長をいくつかお伝えします。附属中学生の「当てはまる」という回答が高かった質問は、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思うか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」「1・2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用したか」「1・2年生のときに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」などです。授業や総合で頑張っている様子がよくわかります。では、逆に全国の中学生と比べて附属中学生が課題と思う質問は、「自分にはよいところがあると思うか」「将来の夢や目標を持っているか」などの質問で、若干低い数値になっています。

みなさんは自分の得意なことやいいところはありますか。そして、自分の得意とするものやそれを伸ばすために何か努力をしているのでしょうか。今日は、二人の生徒に登場してもらいます。2Bの足立さんと、2Bの眞田さんです。二人は9/8英語のスピーチコンテストに出場しました。では、その一部を、二人に発表してもらいます。



今日は二人の生徒に登場してもらおうと思います。

2B 足立 礼実さん

2B 眞田盛之介さん

2人は9/8に第39回中学校英語弁論大会（スピーチコンテスト）出場しました。



(足立さん) I closed my eyes, listened to the peace bell, and stood in the place where it was destroyed by the atomic bomb. I tried to imagine what happened and forced myself to feel the unbearable grief of the people who lived there 79 years ago, on the same day, at the same time. At 8:15 a.m. on August 6, 1945, something fell from the cloudless sky and took away more than a hundred thousand smiles from the city. Hibakusha, the atomic bomb survivors, recount the tragedy of August 6th, describing how they were tortured by the bomb, how they felt, and how they have continued to feel. The day before the Hiroshima Peace Memorial Ceremony, as a member of a peace memorial delegation of junior high school second graders from Matsumoto city, I attended a lecture by one of the atomic bomb survivors. (一部のみ)

(眞田さん) Do you know how much water you lose while you are sleeping? This summer, I conducted an experiment to research how much water we lose while we are sleeping. Before sharing the results, I want to provide some basic information about water. You know, 60% of the human body is made up of water. Did you know that if you lose 6% of your body's water, you will experience dehydration symptoms? And if you lose 10% of it, you will suffer health issues like muscle spasms. Losing 20% of your body's water can lead to death. Recently, I woke up feeling thirsty. To prevent dehydration, I did an experiment. (一部のみ)

二人の発表はどうでしたか。足立さんは、「去年は挑戦しようと思わなかったけど、緊張するけど発表してみよう」と決意した。せっかく広島に行ったので感じたことを伝えたい。声が震えて投げだしそうになったけど、やり遂げられた」、眞田さんは、「伝えたいことは、水の大切さ。実際に実験をしたり、調べたりして、夏休み中のほとんどをこれに費やした。スピーチコンテストはあくまでも方法」と語っています。それにしても見事な発表でした。

学校生活ではいろいろな人と出会い、いろいろな体験をします。自分のもっているものを大切にしながら、他の人との違いに気付き、その違いを理解するとともに、よりよい人間関係をつくっていきます。中学校には1～3年生同じ年代の人が集まっているだけで、あとはバラバラです。個性や性格も違う、元気で活発な人も穏やかで落ち着いた人も、勉強が得意な人も、運動が得意な人も、芸術的な感性がある人も、461名いれば461通りの違いがある。一人一人に違いがあり、よさや個性がある。だからこそ、皆さんの得意なことやいいところを自分で見つけてほしい。わたしは、附属中の生徒は、必ずいいところがあり、そのために自分をしっかりとみつめることができる人たち、自分を大事にすることができる人たち、そして、友だちのいいところをきちんと認め合うことができる人たちだと思っています。自分自身を探していく後期にしましょう。特に、3年生は自分の進路のために、自分のことをしっかりと見つめられるようにしてほしいと思っています。

明日から附中祭があります。附中祭の目的は、①「凌駕～つながり 寄り添い 創り上げる附中の輪～」具現の場、②過程と成果の発表の場とし、責任感などの人間性を育てる場、③すべての場において活動を自分事とし、主体的に動く、としています。一人一人がこの目的をかみしめる、実感する場として附中祭に臨んでほしいと思います。みなさんが、力を入れているのは、「総合」、「学活」、「生徒会」、「部活動」、「体育祭」でしょうか。それらに必死に取り組んできた人たちがいます。その過程と成果を大事にしましょう。

私からお願いします。

- ・互いのよさを発見する2日間にしましょう。
 - ・けがのない2日間にしましょう。
 - ・もとあったときより美しくを心がけましょう。
 - ・自分たちだけでなく、ほかの学年学級、保護者、先生方、来賓等、皆が楽しくなることを心がけましょう。
- 終わった後、それぞれに充実感を得られていることを期待しています。

中学校には1～3年生同じ年代の人が集まっているだけ。あとはバラバラです。個性や性格も違う、元気で活発な人も穏やかで落ち着いた人も、勉強が得意な人も、運動が得意な人も、芸術的な感性がある人も、461名いれば461通りの違いがある。**一人一人に違いがあり、よさや個性がある。**

自分自身を探していく後期へ

附属松本中の生徒は

- ・みなさんには、いいところは必ずある。
- ・そのために自分をしっかりと見つめることができる。
- ・自分を大事にすることができる。
- ・そして友だちのいいところをきちんと認め合うことができる。

自分自身を探していく後期へ

附中祭の目的

- ・凌駕～つながり 寄り添い 創り上げる附中の輪～の具現の場
- ・総合、学活、生徒会、部活動の過程と成果の発表の場とし、責任感などの人間性を育てる。
- ・すべての場において活動を自分事とし、主体的に動く、自分の行動が附中祭づくりに関わっている意識をもつ。

一人一人がこの目的をかみしめる、実感する場として附中祭に臨んでほしい

今週、10月3日、4日と附中祭があります

係活動、学級展示、生徒会企画、部活動、地球市民集会、体育祭、皆さんが、力を入れているのは、**なんですか？**



この二日間で互いに認め合う場にしてみましょう。